

日刊 發行所 川崎文治 本社 同番地（電話六三〇番） 印刷所 常盤毎日印刷所

# 常盤新聞

九月四日夕刊

定部金一圓 一月三圓 三月八圓 半年一五圓 一年二八圓  
 廣告費 第一版每行二角 第二版每行一角五分 第三版每行一角  
 電話六三〇番

### 貸家案内

舊城跡勤人向金八圓五十錢  
 仲間町 全金拾圓  
 全金五圓五十錢  
 全金五圓五十錢  
 全金四圓五十錢  
 白銀町商店向金貳拾圓  
 料理店 八圓  
 旅館向金 八圓  
 鷹匠町勤人向金五圓五十錢  
 五丁目 全金五圓  
 西郷小島全金八圓

**加藤營業所**  
 白銀町（電話三三番）

### 東京行進曲

帝部流行  
 ジャズソング  
 波浮の港の歌手  
 佐藤千夜子嬢が  
 心地良き  
 管絃同伴奏で  
 ビクターレコードに  
 著音器・貴金屬  
**會田時計店**  
 平町四（電話三三三）

**梅毒** 皮膚病 淋病 婦人病  
**林病** 腸虫病 十二指腸病

松村村 胃性病 腸病  
 電話一七〇番

公債、兩替  
**多田井ワカ商店**  
 平町大工町

内臓外科 骨關節外科 整形外科  
**藤本 順**  
 産科 婦人科  
**院長 木村寅次郎**  
 平町新川町  
**木村病院**  
 電話一六四番

### 今宵

純民謡と新民謡の夕

……お早く御來會を乞ふ……

日本一の民謡の唄手**三島一馨氏**  
 ソプラの聲樂家**太田ぬい子嬢**  
 伴奏**ケネデー、クワルテット**  
 後援 常盤毎日新聞社

御進物には  
**ヤマフルの商品券が一番**

醤油味噌  
 たひら正宗  
 鯉節食料品

鹽屋  
**金山崎合名會社**  
 福島縣平町  
 電話（營業部）一〇番  
 （製造工場）二七番

### 高久病院

院長 醫學士 高久 清忠  
 副院長 新潟醫學士 赤羽 雄  
 藥局長 藥劑師 佐竹 菊雄  
 平町田町 電話五二三番

### 耳鼻咽喉科專門

氣管食道科  
 平町南町（舊診療所向）電話一七〇番  
**大和田醫院**

秋植球根が到着しました。  
 とおぞ御覽下さい。

ヒヤシンス、フリージア、イキシヤ、チューリップ  
 ナーシナス、一袋貳拾五錢  
 四丁目（電話二二四番）  
**マツモトヤ 園藝種子部**

平町  
**常盤眼科醫院**

寄書  
**大衆物の時代**  
 小尾範治

（三）  
 これが所謂大衆物であるがそれ等のものは以前少數の趣味者のみによつて享樂されてゐた時代と異なり、大衆の共有となつてからは、その内容に於て自ら少なからざる變化を蒙るに至つたことは、また當然のこと、云はねばならぬ。少數の有閑並に有産者と異なり多數民衆は時間的に於て、又經濟的に於て、餘裕が乏しい上にその致養に於ても亦十分と

は云はれない、それ故に所謂大衆物の特質は刺戟的である利那的であつて、何等の用意なしで端的にその意味を捕へその味はひに觸れることの出来るものでなければならぬ。煩瑣なる手續や方法は全く排斥される今日の大衆文學も亦大衆娛樂もかゝる傾向によつて支配されてゐると思ふその是非は暫く措き大衆の感情を捉へその精神を動かすことに於て現實に偉大なる勢力を有する、斯かる大衆物の傾向に關しては我々は十分なる注意を拂はねばならぬと思ふ（をばり）

心地よき秋が訪れました  
 秋向着尺  
 モスリンと帯側が澤山  
 入りました  
 ゼヒ當店へ  
 平二  
**龜田屋**  
 電五七

健胃  
**小野常治謹製**

### 小名濱商港の實現は 常磐線よ多大の打撃

#### 約壹千萬圓の減收 鐵道が此の悩みに對策

本縣小名濱の商港實現に依つて最も打撃を蒙るのは鐵道側で常磐線の貨物輸送は極度の閑散に陥り實現後の同線の收入減は約一千萬圓と云はれ殆ど常磐線側の致命的打撃である。

#### 鐵道側

では早くも大恐慌を來し之が收入減の對策に腐心してゐるが一千萬圓もの大減收では如何とも甦生の途なく、同線の將來は次第に衰微の一路をたどるものとして頗る憂慮されてゐる。即ち同港完成の曉は從來列車に依つて東京關西方面に輸送されてゐた一ケ年約三百萬噸餘、輸送運賃約七百萬圓の常磐炭を始

#### 四倉の

淺野セメントや鮮魚、繭其の他の貨物は全部鐵道輸送に對して頗る運賃の安い同港出入の汽船に當然奪はれるものと見られ常磐線唯一の收入財源であつた貨物の大部分は海上輸送となるので常磐線小名濱附近の各驛にとつては全く死活問題であり、福島仙台、茨城三連輸事務所に亘る重大問題として鐵道側では頗る恐威を感じてゐるが縣多年の

#### 懸案で

あり、縣下を擧げての猛運動に依つて漸く蘇生した小名濱築港問題

### 小名濱質屋

#### 起債は不認可

小名濱町では一般の金融の爲め公益質屋を設置する計畫で二萬二千圓の起債を縣に申請して着々其の準備中であつたが緊縮方針により起債の認可は出來ない事になつた。

### 植田營林署

#### 開廳祝賀會

#### 八日に開催

石城郡植田町營林署は五月二十九日開設以來町役場の一部を借りて執務してゐるがこれが開廳祝賀會は来る八日午前十一時植田町公園に於て開催される。東京營林局長、本縣山林課長、濱通り各營林署長、茨城縣松原營林署長等臨席する筈であるが緊縮の折柄として前に協議決定せし町費補助の金二百圓支出を廢し各自會費持寄りとし記念品として名メメリンス風呂敷を贈呈するが約二百名の豫定で式順左

の如し

#### 式 順 序

- 一、開會の辭
- 一、植田町長祝辭
- 一、東京營林局長同
- 一、福島縣山林課長同
- 一、隣接營林署長總代同

### 出穂一週間早い

#### 草丈も増加した

#### 石城地方の夏作況

縣農事試驗場石城分場に於ける二十日の夏作況は三日縣農務課に報告されたがそれに依れば大暑以降晴天続きで温度高かつた爲め稻の

#### 發育良好

#### で生育促進

進し出穂期は例年に比し一週早く早生種は八月十六日中生八月二十三日晩生種は八月二十七日出穂期となり草丈は三種とも例年に比し身長増加したるも分蘗は早生種は良く中晩生種とも減じたこれは螟虫の害を被つた爲めで一般には成績よく

#### 今後天候

#### が順調なら

ば今年作よりは良成績を収め得るであらう、尙ほ當日の氣温は最高二七度八分最低二五度三分で普通二十



シミ抜き法

墨汁、インク、醬油、煮物汁、酒ビールの類、茶汁及びコーヒール乳或は牛乳、油

### 民謡唄手

#### 三島氏語る

#### 昨夜來平

今晚から聚樂館に開催される本社後援の「純民謡と新民謡の夕べ」に出演する三島一聲氏及び太田ぬい子嬢其他一行八名は昨日午後七時十三分平澤着により本社員其他の出迎を受け

### 明日の天気

西の風晴れたり曇つたり夕立の模様

今晩から聚樂館に開催される本社後援の「純民謡と新民謡の夕べ」に出演する三島一聲氏及び太田ぬい子嬢其他一行八名は昨日午後七時十三分平澤着により本社員其他の出迎を受け

一杯量を湯五勺にとき、それをつけて水濯ぎする甘いものや鹽辛いもの味不明或はその他蛋白質の如きものは大根おろしで取れます。これは前と同様の方法です。また辛いもの苦いもの澁いもの等は酢酸や酒石酸の溶液をつかひます。

### 繭の相場は……

#### 餘り香んばしくない

#### 質が上等でない爲め

#### 而し量で埋め合す

石城郡地方の秋蠶は日下出廻りの最盛期で四倉繭市場の如きは持込繭が毎日二千貫内外に達してゐるが相場は最高六圓七八十錢買馴五圓五十錢

#### 内外で

り思はしくないこれに就て石城郡養蠶同業組合では「昨年あたりと比較して相場は餘り香んばしくないやうです之は繭質が良好でないためです。然し今年は大候の關係で繭

#### 他地方

#### のそれと比

較して非常に悪いと云ふ事は石城地方の當業者が養蠶事業の改良に無頓着で組合當局が盛んに宣傳してゐる養蠶法が完全に普及しない限り良質の繭を得る事は殆んど不可能といはれて居り

### 三漁港陳情

#### お流れを惶れ

本縣が本年度の新規事業の一として豫算三萬圓の補助を計畫石城郡豊間中の作双葉郡請戸の三漁港を修築せしむる筈であつたが既報の

如く例の緊縮整理に依つて該補助もお流れの運命に陥るらしい處から二日關係町村長漁業組合長は大舉來縣小柳知事金森内務部長等を歴訪是非豫定通りの補助を交附されたいと陳情する處あつた

#### 印半天を盗む

#### 三日

午前九時頃石城郡植田町大日本炭坑附近を印半天姿ではいかい中の男を植田署員が取調べたところ平町久保町生れ當時茨城縣大津町海産物商永山市太郎雇人高橋長吉(三)とて二日午前二時半頃倉庫からかつをぶし價格四十圓を盗みださうとし

### 募集

#### 文藝其他投稿

所々に腐敗病起りボツ／＼斃れるもの生じたので大恐慌を來しこれが豫防に努めてゐる

### こん菊の腐敗病

#### を募集します

石城郡南部の山手方面即ち田人村、上遠野村地方は早くより菊の名産地として知られ、今年も成績甚だ優良であつた處此の頃に至り